



**X-FIELD**

現場端末システム [クロスフィールド]

---

## コマンドリファレンス

本書では、X-FIELDのコマンドを紹介しています。コマンドの詳細は、ヘルプを参照してください。

# 本書について

※ 解説がオプションプログラムの内容である場合があります。  
ご了承ください。

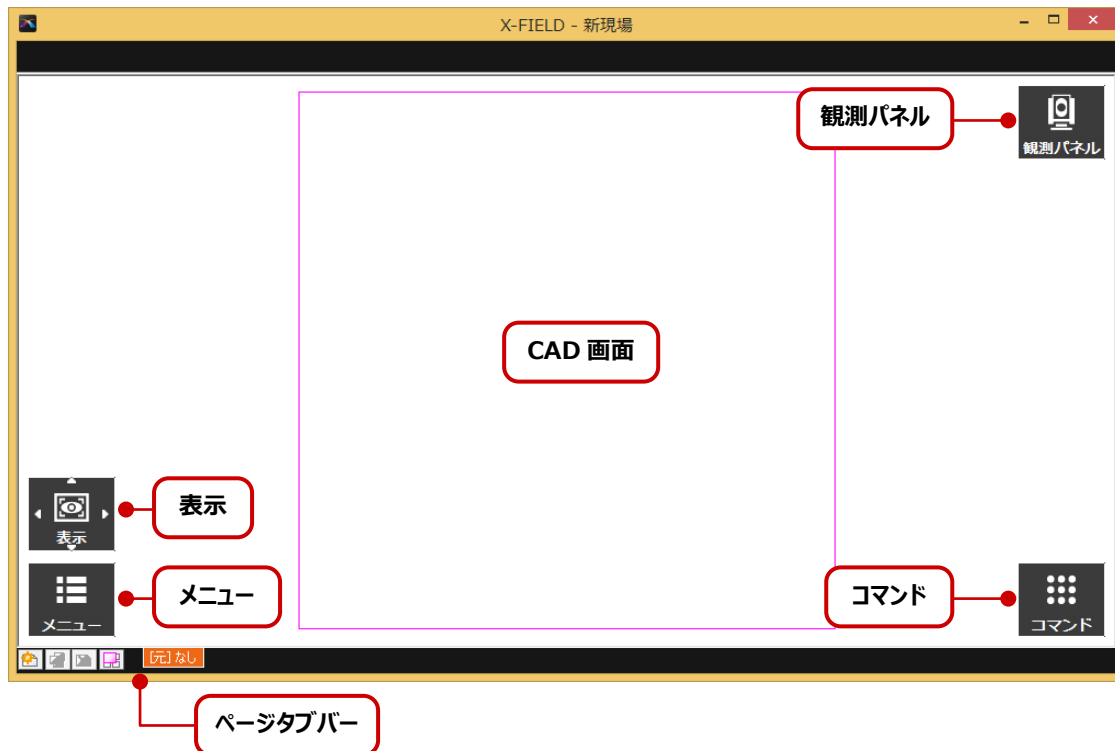
## X-FIELD コマンドリファレンス

## 目次

1	X-FIELDの画面構成	1
2	X-FIELDのコマンドの紹介	2
	[ファイル]メニューのコマンド	2
	[編集]メニューのコマンド	3
	[観測1]メニューのコマンド	4
	[観測2]メニューのコマンド	5
	[汎用1]メニューのコマンド	5
	[汎用2]メニューのコマンド	10
	[データ編集1]メニューのコマンド	12
	[データ編集2]メニューのコマンド	12
	[数値地形1]メニューのコマンド	14
	[設定]メニューのコマンド	15
	[ツール]メニューのコマンド	16
	[ヘルプ]メニューのコマンド	16
3	2015年10月 追加コマンド	17
4	2016年1月 追加コマンド	18

# 1 X-FIELD の画面構成

X-FIELDの画面まわりの機能を確認します。





## X-FIELDの画面構成

表示	再描画、拡大、縮小、原図、パンニングをおこないます。
メニュー	すべてのコマンドを実行できます。
CAD 画面	CAD の入力や編集をおこないます。
観測パネル	観測をおこないます。観測に関するコマンドを集約しています。
コマンド	基本的なコマンドが登録されており、すばやくコマンドを実行できます。使いやすいようにカスタマイズすることもできます。
ページタブバー	ページに関する操作をおこないます。タブをクリックしてページを切り替えます。タブ上にマウスをおくと、そのページがプレビューされます。

## 2 X-FIELD のコマンドの紹介

メニューのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド	
新規作成	新規の現場ファイルを作成します。拡張子は XFD になります。
開く (  -  -  )	保存されている現場を開きます。
上書き保存 (  -  -  )	編集中の現場を名前を付けて保存します。
名前を付けて保存 (  -  -  )	編集中の現場を上書きで保存します。
CIMPHONY 連携-アクセス設定	CIMPHONY の[契約 ID][ログイン ID][パスワード]を入力しておけば、CIMPHONY へのアクセス時に自動ログインします。
CIMPHONY 連携-同期 (  -  -  )	CIMPHONY の作業データ(図面)と連携し、データのアップロード/ダウンロードをおこないます。
CIMPHONY 連携-連携解除	X-FIELD と CIMPHONY の連携を解除します。
CIMPHONY 連携-基本設計データ読み込み (  -  -  )	CIMPHONY と連携して基本設計データのダウンロードをおこないます。
CIMPHONY 連携-路線データ読み込み (  -  -  )	CIMPHONYと連携して、路線データのダウンロードをおこないます。
CIMPHONY 連携-ブラウザ確認 (  -  -  )	[ファイル]-[CIMPHONY 連携]-[アクセス設定]コマンドで、ID・パスワードを入力しておけばログイン状態で表示します。
外部ファイル読み込み-座標地番 SIMA	SIMA 共通フォーマットのデータ(座標、地番)を読み込みます。
外部ファイル読み込み-X-FIELD データ (  -  -  )	X-FIELD のデータ(拡張子 XFD)を読み込みます。編集中のデータに、CAD データや観測データが追加されます。
外部ファイル読み込み- XYCLONE・Field com データ	XYCLONE のデータ(拡張子 UCM)、Field com のデータ(拡張子 BDM)を読み込みます。編集中のデータに、CAD データや観測データが追加されます。
外部ファイル読み込み- X-FIELD・XYCLONEトラバ座標	X-FIELDトラバース計算、XYCLONEトラバース計算、Field comトラバース計算のデータ(拡張子 FCT)から、トラバース計算で計算された座標を読み込みます。
外部ファイル読み込み-武蔵 連携ファイルを開く	EX-TREND 武蔵 建設 CAD で作成した連携ファイル(*.MCF)を開きます。
外部ファイル読み込み-POCKET 現況観測データ	ハンディ観測システム(TREND POCKET)の現況観測データを取り込みます。
外部ファイル読み込み- POCKET 電子野帳観測データ	ハンディ観測システム(TREND POCKET)の電子野帳観測データを取り込みます。
外部ファイル読み込み-JSP・SIMA-DM	JSP・SIMA-DM フォーマットのデータを読み込みます。
外部ファイル読み込み-公共測量作業規程 DM	公共測量作業規程 DM のデータを読み込みます。

[ファイル]メニューのコマンド	
外部ファイル読み込み-拡張 DM	拡張 DM データを読み込みます。
外部ファイル読み込み-基本設計データ (観測パネル  -  )	基本設計データを読み込みます。読み込める基本設計データのバージョンは、Ver.2.0、Ver.4.0、Ver.4.1 です。
外部ファイル読み込み-Landcom データ	Landcom のデータ(拡張子 NSC)を読み込みます。
外部ファイル読み込み-路線データ	BLUETREND XA で作成した路線データファイル(拡張子 xrf )から、路線データを読み込みます。
外部ファイル読み込み-路線 SIMA	路線 SIMA ファイルから、路線データを読み込みます。
外部ファイル書き込み-座標地番 SIMA	編集中の現場の座標を、SIMA 共通フォーマットのファイルで出力します。
外部ファイル書き込み-武蔵 連携ファイルへ保存	X-FIELD(クロスフィールド)で編集中のデータを、EX-TREND 武蔵 への連携ファイル(*.MCF)で保存します。
外部ファイル書き込み-JSP・SIMA-DM	JSP・SIMA-DM データに変換しファイルに書き込みます。
外部ファイル書き込み-公共測量作業規程 DM	データを公共測量作業規程 DM のデータに変換してファイルに書き込みます。元ページを除くページの図面が出力対象になります。用紙内枠四隅を図郭座標として出力します。
外部ファイル書き込み-拡張 DM	拡張 DM データに変換します。元ページを除くページの図面が出力対象になります。
外部ファイル書き込み-特殊地形フォーマット-SSDF	データを神奈川県相模原市の TS 地形測量納品フォーマットである SSDF フォーマット形式のデータに変換しファイルに書き込みます。
外部ファイル書き込み-特殊地形フォーマット-札幌市道路台帳 DM	札幌市道路台帳 DM データに変換します。元ページを除くページの図面が出力対象になります。
印刷	図面を印刷します。
印刷プレビュー	印刷のイメージをプレビューします。
プリンターの設定	プリンターの機種の変更や、各項目を設定します。
バインダーに戻る	X-FIELD を終了し、バインダーを起動します。
アプリケーションの終了	X-FIELD を終了します。
[編集]メニューのコマンド	
元に戻す	直前に実行した CAD 操作を元の状態に戻します。
やり直し	[編集]-[元に戻す]コマンドで戻した処理をやり直します。
切り取り	現在選択しているデータをクリップボードに移動します。
コピー	現在選択しているデータをそのままの状態にして、クリップボードに保存(コピー)します。
貼り付け	クリップボードの内容を、現在のウィンドウ上(CAD 画面など)に貼り付けます。
クリア	選択されているデータを削除します。
形式を選択して貼り付け	クリップボードの内容を指定した形式で貼り付けます。また、貼り付けるデータによっては、同時にリンクを設定することもできます。データを切り取ったり、コピーしたりして貼り付けた場合は、元のアプリケーションで編集できる形式で貼り付けられます。

[編集]メニューのコマンド	
オブジェクトの作成と貼り付け	ワープロやドロー作成などのオブジェクトを配置します。 再編集するときは、配置したオブジェクト内をダブルタップすることにより、対象となるアプリケーションが起動します。
リンクの設定	オブジェクトに設定されているリンク情報を表示・変更します。
[観測 1]メニューのコマンド	
現況観測 (観測パネル  -  )	現況観測をおこないます。現況観測コマンドの初回実行時には、まず器械点と後視点を設定します。
現況観測データ一覧 (観測パネル  -  )	現況観測で得られたデータの一覧を表示します。 また、観測した点を訂正することもできます。
対回観測 (観測パネル  -  )	対回観測をおこないます。対回観測コマンドの初回実行時には、まず器械点と後視点を設定します。
対回観測データ一覧 (観測パネル  -  )	対回観測で得られた観測データを一覧表示します。 また、観測した点を訂正することもできます。
境界杭設置 (観測パネル  -  )	図面上に杭(境界杭または独立杭)を設置します。
境界点観測 (観測パネル  -  )	境界点観測コマンドの初回実行時には、まず器械点と後視点を設定します。
境界点観測データ一覧 (観測パネル  -  )	境界点観測で得られた観測データを一覧表示します。 また、観測した点を訂正することもできます。
GNSS 基準座標設定 (観測パネル  )	基準座標を公共座標系で設定します。
GNSS 観測 (観測パネル  -  )	GNSS 観測をおこないます。
GNSS 観測データ一覧 (観測パネル  -  )	GNSS 観測データを一覧表示します。
WGS84座標系への変換	WGS84系の座標値に変換します。
逆打ち観測 (観測パネル  )	逆打ち観測をおこないます。逆打ち観測コマンドの初回実行時には、まず器械点と後視点を設定します。
縦断観測 (観測パネル  )	縦断観測を起動します。
横断観測	横断観測を起動します。
観測データ出力	観測したデータを標準 (APA) フォーマット形式でファイルに出力します。

[観測 2]メニューのコマンド	
土木横断観測	土木横断観測を起動します。
丁張り設置	丁張り設置を起動します。
簡単レベル観測	簡単レベル観測を起動します。
図面横断観測(※土木版のみ)	図面横断観測を起動します。
図面出来形計測(※土木版のみ)	図面出来形計測を起動します。
出来形計測-設計データ確認	基本設計データの詳細、および平面線形、縦断線形、横断データの情報を確認します。
出来形計測-出来形計測	管理記録と品質証明を計測します。
出来形計測-出来形点検	監督職員と検査職員を計測します。
[汎用 1]メニューのコマンド	
制御-確定	連続してデータを入力する場合などで、最終的に確定する場合に使用するコマンドです。
制御-後退	データの入力中または編集中の操作を、一つ前に戻します。
制御-取消	確定前の入力データやデータの選択範囲などを取り消す場合などに使用するコマンドです。
制御-中止	実行中のコマンドを終了します。
ページ-元ページ	元ページを表示します。元ページとは用紙サイズを気にせず編集作業をして、最後に用紙に割付けることが可能なページです。ただし、元ページでは使用できないコマンドもいくつかあります。その場合は、用紙配置後のページで作業してください。
ページ-追加	ページを末尾に追加します。
ページ-挿入	現在選択されているページの前にページを追加します。
ページ-ページ名称変更	ページ名称を変更します。
ページ-ページ移動またはコピー	ページを移動、またはコピーします。
ページ-ページ選択	ページを複数選択します。
ページ-ページ選択解除	ページの複数選択を解除します。
ページ-前ページ	1つ前のページへ移動します。
ページ-次ページ	次のページへ移動します。
ページ-一覧	ページを一覧表示して、編集する図面のページを選択します。
ページ-配置	「元ページ」に用紙を配置して、図面を作成します。
ページ-同期	元ページから配置した各ページのデータの同期をとります。
ページ-元ページに合成	各ページの図面を元ページに取り込みます。図面取込み→元ページに合成→元ページで観測・編集→同期で各ページに反映→図面を出力 という流れで、作業をおこなえます。
ページ-作業情報	作業情報を設定します。作業情報の中で、縮尺・回転角以外は図面上には反映しません。



[汎用 1]メニューのコマンド

表示-範囲拡大 (  )	指定範囲を拡大します。
表示-倍率拡大	表示範囲を、一定倍率で拡大表示します。
表示-倍率縮小 (  )	表示範囲を、一定倍率で縮小表示します。
表示-移動(枠指定)	表示範囲を移動します。
表示-パニング (  )	表示範囲を移動します。
表示-原図 (  )	原図領域が最大表示されるようにします。元ページでは、配置されている要素に外接する矩形を算出して、原図範囲とします。ただし、原図領域([汎用 1]-[表示]-[原図領域]コマンド)が設定されている場合は、原図領域が原図範囲となります。
表示-原図領域	現在表示されている範囲を、原図コマンドで表示する「原図領域」に設定します。
表示-データ領域	データ(ラスターデータも含む)が画面内に収まるように表示します。レイヤ設定・レベル設定・ペン設定で表示オンになっているデータが対象です。
表示-前表示	表示範囲、表示率を 1 つ前の表示に戻します。ただし、戻せる回数は 5 回までです。
表示-再描画 (  )	画面内容を表示し直します。
表示-概略実寸	表示領域を図面上の長さそのまま表示されるように画面を設定します。
表示-文字列検索	表示されている点番、点名、地番などの中から、指定した文字列を検索して、画面の中心に表示します。引出線、寸法線の文字列も検索対象となります。
表示-図面モニター	用紙の全体図でイメージ表示する図面モニターの表示/非表示を切り替えます。
表示-ルーペ	CAD 画面内のマウスポインターの位置を中心とした拡大画面を表示するルーペの表示/非表示を切り替えます。
表示-エリアコントロール確認	SXF 既定義ハッチング:Area_Control が入力されている領域を選択状態にします。Area_Control は、「図面に表示するパターンがない」という定義のハッチング要素になります。面積を計算する範囲を明確にして、SXF 属性を付加させる事を主な用途としています。
計測-2点間の距離方向角 (  )	指定した 2 点間の距離および方向角を表示します。
計測-点と線の距離方向角	任意の点と直線を指定して、その間におろせる垂線の距離および方向角を表示します。
計測-連続距離	図面上で連続的に点を指定していき、その総延長を表示します。
計測-3点内角 (  )	3 点を指定して、内角 (1 点目から 2 点目の進行方向に対して右回りの角度)を表示します。
計測-3点垂直 (  )	指定した 2 点と任意の点との距離を表示します。



[汎用 1]メニューのコマンド

計測-面積	面積は、レベルの縮尺に影響します。
計測-合計	CAD 上で数値(文字列)を複数選択し、その合計値を配置します。
計測-データ量の状態	図面に入力されている要素数(データ数)を表示します。
計測-座標デジタイズ (  -  -  )	任意の点を指定して、用紙座標上の X、Y 座標値、現場座標上の X、Y、Z 座標値を表示します。
文字-入力 (  -  -  )	文字列を入力します。
文字-引出線	要素を指定して、関連する文字列を引き出します。文字、線、マーク、引出線が対象です。
寸法線-水平・垂直(任意)	任意にタップした点間の水平・垂直距離の寸法を入力します。
寸法線-直線指示	直線指定で寸法を入力します。
寸法線-2点指示	任意の 2 点を指定して、2 点間の距離を寸法入力します。
線-入力 (  -  -  )	図面上の任意位置を指定して、直線を連続入力します。
線-折線	折線(直角固定折線)を連続入力します。
線-垂線 (  -  -  )	基準線(直線、円、円弧、クロソイド)から、垂線を入力します。
線-連続平行線 (  -  -  )	基準となる線に対する平行線を距離指定で入力します。
線-平行線	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。
線-接線	円、円弧に対して、他方の円、円弧、または指定した点に接線を入力します。
線-等分線	基準となる線を指定しその基準線に対して等分線を入力します。基準線は線が対象です。
線-矩形 (  -  -  )	矩形を入力します。
円-中心半径	中心と半径を指定して、円を入力します。
円-外接円	基準となる三角形頂点 3 点を指定して、三角形に外接する円を入力します。
円-平行	基準となる円を指定して平行円(同心円)を入力します。
円弧-中心半径角度	中心点、半径、円の開始角・終了角を指定して円弧を入力します。
円弧-3点弧(外接)	3 点を指定して、その 3 点に外接する円弧を入力します。
マーク・点-マーク入力 (  -  -  )	マークを入力します。

[汎用 1]メニューのコマンド

自由曲線-入力	任意点を指定して自由曲線を入力します。
自由曲線-点等分	任意点を入力して自由曲線を作成し、入力した自由曲線間にも自由曲線を自動的に作成します。
自由曲線-線等分	指定した2つの自由曲線の間、自由曲線を入力します。
自由曲線-平行線	自由曲線の平行線を入力します。
自由曲線-標高配置	標高値を入力します。
自由曲線-標高訂正	自由曲線の標高を訂正します。
自由曲線-制御点編集	自由曲線の制御点を編集します。
自由曲線-コンタ範囲移動	基準となるコンタ線の通過点と移動先を指定し、編集範囲に含まれる全ての通過点を移動することで、自由曲線(コンタ線)を編集します。
自由曲線-コンタ標高点補正	標高点2点を指定して、標高点とコンタ線(等高線)の標高から通過点を移動し、標高点間のコンタ線と標高点付近のコンタ線(基準線の端を10mm延長したものと交差するコンタ線)の形状を編集します。
自由曲線-連続線のコンタ化	任意の数の連続線を指定し自由曲線を作成します。 また、作成する自由曲線のハンドルの編集も可能です。
自由曲線-コンタ自動入力	Z座標を持つ測点・CADデータ(マーク、線、円、円弧、自由曲線、上下線、点、補助点)に対して、自動的にコンタ線を配置します。
ハッチング・塗り-ハッチング	ハッチングを入力します。
ハッチング・塗り-ハッチング中抜き	ハッチング要素の領域内を中抜きします。ハッチングパターン(アイテム)が、黄色のものが対象です。
ハッチング・塗り-塗り潰し	塗り潰しを入力します。
ハッチング・塗り-塗り潰し中抜き	塗り潰しを中抜きします。
ハッチング・塗り-編集	塗り潰し・ハッチングの領域枠通過点を編集します。
ハッチング・塗り-マスク	マスク要素(背景色と同一色の塗り潰し要素)を入力します。
補助 1-任意線	補助線を入力します。
補助 1-平行線	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し平行補助線を入力します。
補助 1-挟角線	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し、その基準線に対して、数値入力した角度だけ傾いた補助線を作成します。
補助 1-任意点	任意の位置に補助点を入力します。
補助 1-線の中点	線分または連続線を指定して、中点に補助点を入力します。
補助 1-円の中心	円・円弧・楕円・楕円弧を指定して、中心点に補助点を入力します。
補助 1-要素の端点	線分・連続線・自由曲線・円弧・楕円弧の端点に補助点を入力します。
補助 1-オフセット点(要素指定)	線、円、円弧、クローン要素を指定し、端点または指定点からオフセット距離を設定して補助点を入力します。

[汎用 1]メニューのコマンド	
補助 1-オフセット点(2 点指定)	2 点指定でオフセット距離を設定して補助点を入力します。
補助 1-4 点交点	4 点を指定して、1-2 点目と3-4 点目を通る直線の交点に補助点を入力します。
補助 1-2 円の交点	2 つの円の交わる点に補助点を入力します。
補助 1-垂線の足(要素指定)	線・円・円弧・クロソイド要素と、任意点からの垂線との交点に補助点を入力します。線要素は、連続線、上下線、補助線が対象です。
補助 1-垂線の足(2 点指定)	指定した 2 点の延長線と、任意点からの垂線との交点に補助点を入力します。
補助 1-垂直点	線・円・円弧・クロソイド上の指定点から伸ばした垂線上に補助点を入力します。線要素は、連続線、上下線、補助線が対象です。
補助 2-等分割(要素指定)	線・円・円弧・クロソイドを指定して、分割した点に補助点を入力します。線要素は、連続線、上下線が対象です。
補助 2-等分割(2 点指定)	指定した 2 点間を等分割した点に補助点を入力します。
補助 2-コンタ割付	図面上の任意の 2 点に標高を与え、ピッチを指定して補助点を入力します。
補助 2-全削除	補助点・補助線を全削除します。
ラスタ・写真-配置	ラスタ・写真データ(画像・写真)を配置します。
ラスタ・写真-一括配置	複数のラスタ・写真データ(画像・写真)を、1 ページに 1 枚ずつ一括で配置します。
ラスタ・写真-書込み	ラスタまたは写真データをファイルに書き込みます。
ラスタ・写真-訂正	ラスタ・写真データを訂正します。
ラスタ・写真-部分編集	ラスタまたは写真データを部分的に編集します。
ラスタ・写真-削除	ラスタまたは写真データを削除します。
ラスタ・写真-移動・回転・伸縮	ラスタデータを移動・回転・伸縮します。
ラスタ・写真-サイズ変更	矩形指定でラスタまたは写真データを移動・回転しサイズ変更します。
ラスタ・写真-合成	個々に配置したラスタまたは写真データを合成します。
ラスタ・写真-モノクロ化	カラーのラスタ・写真データを、モノクロ化(白黒 2 値化)します。
ラスタ・写真-前面へ	ラスタ・写真データの、描画順(表示順)を1つ前面へ移動します。
ラスタ・写真-背面へ	ラスタ・写真データの、描画順(表示順)を1つ背面へ移動します。
ラスタ・写真-GeoTIFF 配置	GeoTIFF を配置します。
ラスタ・写真-GeoTIFF 書込み	配置済みのラスタまたは写真データを、GeoTIFF として書き込みます。

[汎用 2]メニューのコマンド

リンク編集	CAD データには、「写真・画像」や「テキスト」など既存ファイルを「リンク情報」として追加することができます。これらのリンク情報を、編集（追加・変更・解除）します。
データ読み込み-SXF	SFC/P21 形式のデータを読み込みます。
データ読み込み-SXF 一括	SXF データを一括して読み込みます。
データ読み込み-DXF・DWG	DXF・DWG 形式のデータを読み込みます。
データ読み込み-JWC・JWW	JWC・JWW 形式のデータを読み込みます。
データ読み込み-アスキー	アスキー形式のデータを読み込みます。
データ読み込み-EXCEL	EXCEL データを CAD 要素（線や文字要素）に変換して読み込みます。
データ書き込み-SXF	データを SFC/P21 形式に変換してファイルに書き込みます。
データ書き込み-SXF 一括	全ての図面を SXF データに一括変換します。保存フォルダーには図面の SXF データと、電子納品ツールで利用可能な図面情報管理ファイル（図面情報.BXM）が出力されます。
データ書き込み-DXF・DWG	データを DXF・DWG 形式に変換してファイルに書き込みます。
データ書き込み-JWC・JWW	データを JWC・JWW 形式に変換してファイルに書き込みます。
データ書き込み-アスキー	データをアスキー形式に変換しファイルに書き込みます。
データ書き込み-EXCEL	CAD 要素（線や文字要素）を EXCEL データに変換して出力します。
図枠・表題欄-図枠	普通用紙の図面に対して図枠、トンボ、方眼、目盛を設定配置します。
図枠・表題欄-複数枠イメージ	複数のページにまたがって図面を作成したとき、現ページの用紙位置を示す複数ページ全体のイメージ図を配置します。このコマンドは、[数値地形 1][数値地形 2]の各コマンドで作成した図面データのあるページでのみ複数枠イメージ図を入力することができます。
特殊図形-特殊線 (  -  -  )	境界線、徒歩道、トンネル内の通路など特殊線を指定して入力します。
特殊図形-シンボル入力 (  -  -  )	神社、寺院などシンボルを指定して、図面上に入力します。
特殊図形-シンボル登録	図形を選択してシンボルとして登録します。
特殊図形-方位入力	方位マークを指定して、図面上の任意の位置に配置します。
特殊図形-方位登録	図形を選択して方位マークとして登録します。
特殊図形-手書きメモ	手書きメモは CAD 画面上をドラッグして入力します。
現況-法面	法面記号を配置します。
現況-法面記号平行移動	斜面記号要素を上下線の領域内で平行移動します。
現況-安全地帯	安全地帯（立ち入り禁止部分・導流帯・ゼブラ帯）を入力します。

[汎用 2]メニューのコマンド	
現況-センターライン	センターラインを入力します。
現況-横断歩道	横断歩道を入力します。
現況-建物成形	建物形状を入力します。建物のでっぱっている角の点を観測し、建物形状を入力するのに有効です。
現況-グレーチング	道路のグレーチングを入力します。
現況-連続線の直線化	歪んでいる連続線を指定して、直線化します。
現況-平行垂直に補正	歪んでいる連続線を指定して、基準線に対して平行・垂直に補正します。平行・垂直補正の判断は、基準線との角度から自動判断します。線分、連続線、補助線が対象です。
測量-座標結線	任意点を指定して、指定した点間に線を結んで距離、勾配、方向角を表示します。
測量-交点計算	交点計算(2直線の交点、3点垂直、オフセット計算、1点1方向角、2円の交点、直線と円、隅切計算、線の延長点)をおこないます。
測量-路線計算	路線データ(線形)を利用して、「センター点」「巾杭点」を追加します。利用できる路線データは、以下の路線データです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[ファイル]-[外部ファイル読み込み]-[路線データ]で読み込まれた路線</li> <li>・[ファイル]-[外部ファイル読み込み]-[基本設計データ]で読み込まれた路線</li> </ul>
測量-路線削除	読み込まれている路線データを削除します。削除できる路線データは、以下の路線データです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[ファイル]-[外部ファイル読み込み]-[路線データ]で読み込まれた路線</li> </ul>
測量-拡大図	部分拡大図を配置します。
測量-断面図	平面図のセンター・左右端点を指定して横断面図を作成します。
測量-クロソイド入力	パラメータを指定し、クロソイド曲線をクロソイド要素で入力します。
用地支援	BLUETREND XA で作成した「用地情報が配置済みの転写連続図」に対して、「杭の設置」と「境界点観測」をおこないます。
SXF 属性-属性マスター	SXF 属性のマスターを設定します。
SXF 属性-属性入力確認	要素、パック(要素の上位グループ)、ラスタデータ(画像)に SXF 属性を付加します。
SXF 属性-属性一覧	要素、パック(要素の上位グループ)、ラスタデータ(画像)に付加した SXF 属性、ターゲットの確認・編集をおこないます。
SXF 属性-属性複写	要素、パック(要素の上位グループ)、ラスタデータ(画像)に付加した SXF 属性を他の要素、パック(要素の上位グループ)、ラスタデータ(画像)に複写します。
SXF 属性-属性一括	要素、パック(要素の上位グループ)に SXF 属性を付加します。

[データ編集 1]メニューのコマンド	
移動	データを移動します。
複写	データを複写します。選択したデータを 1 カ所に複写する場合に使用します。
訂正	データを訂正します。
一括訂正	データを一括訂正します。
削除	データを削除します。
スタンプ	データをスタンプ(複写)します。選択したデータを複数箇所に複写する場合に使用します。
配列複写	データを配列複写します。データを一定間隔で複数複写したい場合に有効です。
回転	データを回転します。
移動・回転	データを移動・回転します。
ミラー	データを鏡像移動(複写)します。
伸縮	データを伸縮します。
分解	データを分解します。
属性スタンプ	データの属性を複写します。補助点、補助線、測点、マスク、手書きメモ、部品、ハッチングを除く要素が対象で、同一要素に対する属性複写です。
スポイト	データの属性を取得し、[入力属性]ツールバーを取得した属性に変更します。 ただし、作業レイヤ以外のレイヤ属性、矢印属性を持たない要素の矢印属性、部品要素の属性は取得できません。
DMレイヤー括変換	DMレイヤのデータを作業レイヤに変換します。
[データ編集 2]メニューのコマンド	
クリーンアップ	不要(極小・重複)なデータを削除します。
並べ替え-前面へ	データ順を 1 つ前面へ移動します。[設定]-[共通設定]の[描画順]で、[データ順で描画]のチェックがオンの場合に有効です。
並べ替え-背面へ	データ順を 1 つ背面へ移動します。[設定]-[共通設定]の[描画順]で、[データ順で描画]のチェックがオンの場合に有効です。
並べ替え-一括並べ替え	データ順の並べ替え、レベルを変更を一括でおこないます。 [設定]-[共通設定]の[描画順]で、[データ順で描画]チェックがオンの場合に有効です。SXFVer3.1 仕様に基づき、異なるアプリケーションでも同じ表示にするために有効です。
線編集-線伸縮	線を伸縮します。線分、連続線、上下線が対象です。
線編集-整合	2 つの要素の交点で整合(交点まで伸縮)します。線分、連続線、上下線、円、円弧が対象です。
線編集-延長止線	指定した線を他方で指定したライン上まで延長します。 または、切断します。 線分、連続線、上下線が対象、止める側は線分、連続線、補助線、円、円弧、上下線、自由曲線が対象です。
線編集-連続線延長	連続線を延長します。線分、連続線、上下線が対象です。



[データ編集 2]メニューのコマンド

線編集-面取	同一頂点に整合されている2つの要素を面取りします。線分、連続線、円弧が対象です。
線編集-重複線サーチ	重複線を検索し発見した重複線を1本化します。線分、連続線が対象です。
線編集-線記号反転	線記号を基準線を境に反転します。
線編集-点移動・挿入・削除	通過点を編集します。連続線、自由曲線、上下線が対象です。
線編集-分割	分割すると、分割点でそれぞれ独立した要素になります。連続線、自由曲線が対象です。
線編集-結合	要素の種類が同じデータを結合します。線分、連続線、自由曲線が対象です。
線編集-標高訂正	通過点(ハンドル)の標高を訂正します。連続線、上下線が対象です。
線編集-標高自動割付	標高が1つ以上入力されている線の他の通過点に標高を割り付けます。標高は、前後の標高が設定されている通過点から距離に比例配分して割り付けます。標高が1つの場合は、同じ標高になります。線分、連続線、上下線が対象です。
線編集-部分移動・削除	データの一部を移動して変形します。連続線、自由曲線、上下線が対象です。
線編集-部分訂正	データの一部(ハンドル間)の属性を訂正します。連続線、自由曲線が対象です。
線編集-部分非表示	データの一部を非表示にします。連続線、上下線が対象です。
レベル編集-レベル追加	レベルを追加します。
レベル編集-レベル編集	レベルを編集します。 ただし、レベルが1つも追加されていない用紙系1/1のレベル、元ページから配置したレベルは編集できません。
レベル編集-レベル複写	表示ページに、他のページのレベルを複写します。同一ページ内へのレベルの複写も可能です。
レベル編集-形状移動(1点)	1点指定で形状を移動してレベル原点、回転角を訂正します。
レベル編集-形状移動(回転)	1点1方向で形状を移動してレベル原点、回転角を訂正します。
レベル編集-用紙移動(1点)	1点指定で用紙を移動してレベル原点、回転角を訂正します。
レベル編集-用紙移動(回転)	1点1方向で用紙を移動してレベル原点、回転角を訂正します。
カット-要素指定カット	指定した要素を他の要素との交点でカットします。線・円・円弧・補助線(無限補助線は除く)が対象です。カットをする側は、線・円・円弧・補助線(無限補助線は除く)が対象です。
カット-線間カット	カットする線間部分を指定して、他の要素データと交わる点でカットします。 線・円・円弧・自由曲線が対象、カットをする側は、線、無限補助線、上下線、円、円弧、楕円、楕円弧、自由曲線が対象です。
カット-範囲指定カット	指定した範囲内(または範囲外)の要素データをカットして削除します。
カット-マーク指定カット	プロットマーク内のデータをカットします。線分・連続線・円・円弧がカットの対象です。



[データ編集 2]メニューのコマンド	
パッカー入力	複数の要素を選択し、それぞれの属性を保持しながら1つのデータとしてパックします。
パッカー解除	パックしたデータを解除します。
パッカー編集	パックを訂正します。
[数値地形 1]メニューのコマンド	
ページ情報	ページ情報を入力します。その他情報では、写真管理情報や測地系の情報を入力します。
測点一覧	測点の一覧を表示します。測点を追加・変更・削除することもできます。
標高値編集	測点の標高値を編集します。
CAD 測点登録	CAD 画面上から測点を登録します。
点記号配置 (  -  -  )	図面上に DM 要素の点記号を配置します。
点名・標高値配置-個別配置 (  -  -  )	標高(標高値が未設定でも可能)を持つ点に点名、標高値を入力します。指定要素は、任意の測点、点記号、連続線の端点、通過点の対象となります。
点名・標高値配置-測点より一括配置	標高(標高値が未設定でも可)を持つ測点に点名、標高値を入力します。
斜面記号-斜面記号配置	図面上に斜面記号を配置します。斜面記号は線や円要素で作成します。
斜面記号-斜面記号個別配置	図面上に斜面記号を配置します。
建物野帳	建物の形状を入力して図面上に配置します。
電線方向-入力	電線を表す線を入力します。
電線方向-削除	入力した電線を表す線を削除します。
電柱支線-入力	電柱支線を入力します。
電柱支線-削除	入力した電柱支線を削除します。
石段・階段	石段・階段を入力します。
DM マスター	DM 記号を設定します。
よく使う DM 記号の並べ替え	よく使う DM 記号を並べ替えます。

[設定]メニューのコマンド	
表示モード表示モード設定	共通設定の[表示:全般]の各項目を設定します。
入力モードドラフト	ドラフト機能を有効にする、しないを切り替えます。ドラフト機能がオンのとき、入力の際に設定した角度の方向のみ限定して入力することができます。
入力モード座標補正 $\Delta xy$	データの入力位置や基準位置を、タップした位置からの縦、横の移動量で補正する機能のオン、オフを切り替えます。
入力モード絶対座標入力	データ入力時に、絶対座標値を指定して入力します。
入力モード相対座標入力	図面上で2点目以降のデータを入力するとき、前点からの相対座標(距離)を指定して入力します。
入力モード極座標入力	図面上で2点目以降のデータを入力するとき、前点からの距離と方向角を入力して指定します。
選択モードパック指定	図面上のデータを選択する際、選択対象データをパック単位にするか、しないかのモードを切り替えます。
選択モードポイント	マウスでタップした点のデータを選択します。
選択モードクロス	2点間上に交差するデータを選択します。
選択モード矩形イン	矩形内のデータを選択します。
選択モード矩形タッチ	矩形上に交差するデータ、または矩形内に囲まれているデータを選択します。
選択モード多角形イン	多角形内のデータを選択します。
選択モード多角形タッチ	多角形上に交差するデータ、または多角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モードフリーハンド	マウスで描いた軌跡上に交差するデータを選択します。
選択モードフリーハンドイン	マウスで描いた軌跡上の領域内のデータを選択します。
選択モードフリーハンドタッチ	マウスで描いた軌跡上の領域に交差するデータ、領域内に囲まれているデータを選択します。
選択モード選択移動	選択移動がオンの場合は、選択したデータにハンドルが表示され、データの移動、複写ができます。また、オフの場合は、データ選択のみになります。
選択モード全選択	選択対象の全てのデータを選択します。
ピックモードマーク	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いプロットマークの中心点にします。
ピックモード交点	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い交点にします。交点をピックします。
ピックモード端点	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い端点にします。
ピックモードグリッド	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いグリッドの交点にします。
ピックモードフリー	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置にします。
ピックモード線上	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線上にします。線上をピックします。

[設定]メニューのコマンド	
ピックモード-中点	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線の中点にします。
ピックモード-中心	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い円(円弧)、または楕円(楕円弧)の中心点にします。
ピックモード-設定	ピックモードを設定します。
カスタマイズ	ポップアップメニュー、キーボードによるショットカットキー、ツールバー、コマンドバー、メニューを使い易いようにカスタマイズします。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	拡大方法、表示移動率、表示色、要素パレットの選定、自動バックアップの方法、既存フォルダーのパスを設定します。
動作環境	メモリ使用量・ドライブ容量を確認します。
メニュー-通常メニュー、メニューボタン	メニューの表示方法を、「通常メニュー」「メニューボタン」のどちらを使用するかを選択します。
ツールバー-表示	ツールバーの表示/非表示を切り換えます。
ツールバー-設定	ツールバーを設定します。
ツールバー-ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ツールバー-ページタブバー	ページタブバーの表示/非表示を切り替えます。
ツールバー-フローティングボタン	表示するフローティングボタンを設定します。
ツールバー-パネル/コマンドカスタマイズ	「観測パネル」または「コマンドボタン」に、コマンドを配置します。
ツールバー-コントロールキー	コントロールキーを押した状態にします。
ツールバー-電卓	Windows の電卓アプリケーションを起動します。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
マニュアル	各アプリケーションのPDFマニュアルや資料などを表示します。
クリック個所の機能解説表示	コマンドを実行した後、ヘルプ解説を見たい箇所をタップすると、ヘルプが表示されます。(表示されない箇所もあります。)
BEST FAQ	サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、件数の多いものを厳選して作成したFAQです。あなたの疑問に、電話によるサポートより早くお応えします。
FC コンシェルジュ	「FC コンシェルジュ」は、製品情報や各地のイベント・セミナー情報、サポート情報やサポートコンテンツなどを、各ユーザー専用の内容で提供する機能です。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続します。お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョンやユーザー ID などを確認します。

### 3 2015年10月追加コマンド

2015年10月出荷で追加されたコマンドを紹介します。

[汎用 2]メニューのコマンド	
電子納品写真-撮影	電子小黒板を配置した写真を撮影します。
電子納品写真-一覧	開いている現場データで撮影した電子納品写真を確認します。
電子納品写真-クラウド	RICOH SnapChamber (スナップチェンバー)のサイトと、電子納品写真のフォルダー(「EnouPhoto」フォルダー)を開きます。撮影した電子納品写真を SnapChamber にアップロードする時に使用します。
現場写真-撮影	撮影場所の位置情報(緯度/経度)付きの写真を撮影します。
現場写真-一覧	撮影した現場写真を確認します。

## 4 2016年1月追加コマンド

2016年1月出荷で追加されたコマンドを紹介します。

### [ファイル]メニューのコマンド

CIMPHONY 連携-土工管理データ読み込み	CIMPHONYと連携して、土工管理データのダウンロードをおこないません。
CIMPHONY 連携- 土工管理・土木横断データ書き込み	CIMPHONYと連携して、土工管理データと土木横断データをアップロードします。

### [データ編集 2]メニューのコマンド

クリップボード-複写	図面上で選択したデータをクリップボードに複写します。
クリップボード-複写(範囲指定)	矩形範囲を指定して、範囲内のデータをクリップボードに複写します。
クリップボード-貼り付け	クリップボードに複写されたデータを図面上に貼り付けます。

### [ヘルプ]メニューのコマンド

マニュアル	各アプリケーションのPDFマニュアルや資料などを表示します。
BEST FAQ	サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、件数の多いものを厳選して作成したFAQです。あなたの疑問に、電話によるサポートより早くお応えします。

以下のコマンドは、2016年1月出荷で削除されました。

### [ヘルプ]メニューのコマンド


各種資料	「各種資料」の目次が表示されます。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。

# ご注意

- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
- (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。
- (7) データのバックアップについて

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

- 
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  - Windowsの正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating Systemです。
  - Windows Vistaの正式名称は、Microsoft (R) Windows Vista (R) Operating Systemです。
  - このマークが付いたソフトは(社)全国測量設計業協会連合会と日本測量機器工業会が共同で開発した共通フォーマットに対応しています。
  - UNLHA32.DLLは、Micco氏のフリーソフトウェアです。
  - LEADTOOLS  
Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.
  - Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
  - ToSpeakは、株式会社東芝の商標です。
  - 東芝製音声合成ソフトウェアの著作権は、株式会社東芝に帰属します。
  - PC-MAPPINGツールライブラリー  
CopyRight 2014 Mapcom, Inc.
  - ImageKit7  
Copyright (C) 2005 Newtone Corp.
  - InstallShield2015  
Copyright © 2015 Flexera Software LLC.All Rights Reserved.
  - 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
  - BLUETREND、EX-TREND、EX-TREND 武蔵 および EX-TREND MUSASHI は、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。